

校長先生の日記③⑩

学校は毎日充実した子どもたちの学びや活動であふれています



九九の勉強が始まりました！

2年生では、算数の学習のメインとも言える九九の学習が始まりました。まずは2の段から、九九の意味を勉強し、その後「二ーが2」「二ニが4」と覚えていきます。まずは上り、次に下り、そしてランダム。先生の前で一人一人暗唱し、合格をもらっていました。一生使う九九。計算機が発達しているとはいっても、やはり頭の中でよく使います。粘り強く、しっかり身に付けられるよう頑張る日々が続きます。がんばれ2年生！

児童生徒会選挙がはじまりました

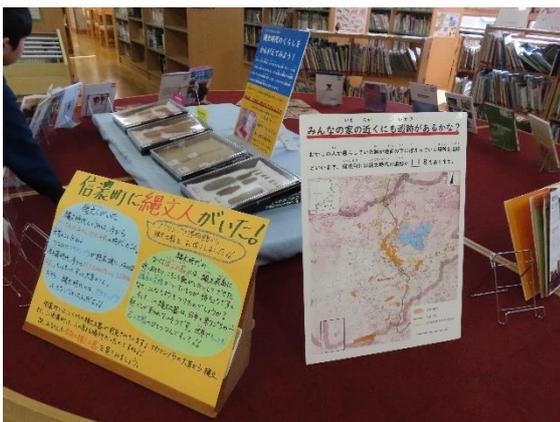
これまで児童生徒会を、いや学校全体を引っ張ってきてくれた9年生に代わって、いよいよ8年生がバトンを引き継ぎます。そのための役員選挙が告示され、立候補者が揃いました。

会長1名、副会長2名を選挙によって決めていきます。どの候補者も自分のやりたいことがしっかり決まっており、誰がなっても、この信濃小中学校はさらにより学校になると思います。本当に頼もしいです。これも、これまでの先輩たちの姿がそうさせているのだと思います。最後の1年で、また新しい信濃小中学校築き、次の学年へとつなげていってほしいです。



やきいもおいしいよ！

これはミステリーサークルではなく、焼き芋です。庁務の佐藤守先生が、焼き芋をするよという、もみがらを炭にして待っていてくれます。そこに銀紙で包んだお芋を入れて、炭をかぶせて密閉。じわじわと焼き上げます。するとどんなお芋も甘い焼き芋に大変身！さすが熟練の技！さつまいもを育てた学年、クラスはみんなお世話になっています！



読書旬間が始まっています

読書旬間が始まっています。図書館では、ナウマン象博物館とのコラボ企画「土器」が開催されています。この信濃町にも縄文人がいて、その証拠となる土器がたくさん出土しています。本物のやじりなども展示されていて、その周りには「土器」や「縄文時代」に関する本がずらりと並べられています。興味のある子はもちろん、そうでない子たちも足を止めて、見入っています。実は土器が大好きな先生方もいて、信濃町在住の先生の中には、「中学生の頃は、道に土器が落ちていて、鞆に入れて帰った」なんて思い出を語ってくれています。前回の骨企画のように、「土器」を拾ってきてくれる子どもたちが出てくるといいなと思います。



図書委員会もみなさんの活動も活発で、本に親しむためのたくさんの企画を考えて実行してくれています。廊下の所々に「立ち読みコーナー」が設置され、学年に合う本が、魅力的な「ポップ」とともに置かれています。思わず立ち止まって、本を手にしてしまいます。また毎日お題が出され、そのお題に合う本を見つけるクイズなども行われています。またご家庭でも親子で本に親しんでほしいと「親子読書」のすすめもお願いしています。小さいころはやっていた「読み聞かせ」も大きくなるとなかなかしなくなりますが、お互いに好きな本を見つけて「読み聞かせ」たり、交換して読むなど、楽しい時間を過ごしてもらえたらいいと思います。地域の読み聞かせボランティアのみなさんによる「読み聞かせ」も開かれるなど、まだまだ楽しい企画が続きます。



人権月間も始まっています



11月は人権月間です。差別をしない、互いをおもいやる心を育てることを目標に様々な学習や活動が行われています。11月9日には参観日も行われ、多くの保護者のみなさんに「人権」に関わる授業を参観していただきました。生まれつき指が短く生まれたけれど大好きなバイオリンを演奏しながら、聞く方に勇気や希望を与えている方の演奏を聴いたり、協力して紙コップを積み上げたり、クラスの枠を越えて仲間を作ったり、目の見えない人の体験をしたりと、学年の計画により授業を行いました。「自分も友だちも大切にする」ということは毎日の生活の中で日々行われていることですが、この機会に改めて自分を振り返り、自分も友だちの幸せな信濃小中学校になるための新たな目標を立てたいと思います。